

楽団紹介

アンサンブルスルーザヨコスカ 代表清水玲子



横須賀を20年近く離れ、生まれ育った実家に戻ったのは平成元年です。

周囲は二世三代と様変わりです。父母夫の他界や3人の子供たちの独立など大変な時期でしたが、当時ヤマハ指導講師をされていた鍋木先生との出会いにより、横須賀での楽団立ち上げを考えました。会場の確保、団員募集のチラシの作成など横須賀の現状に詳しい古い友人や鍋木先生のアドバイスを受け、平成14年一人で立ち上げました。

その後横須賀市音楽協会と全シ連に加盟しまして、現在17名の団員です。編成はFl2・Ac・Vn2・TS2・AS3・G・Dr・KB5。楽譜は先生の蔵書から編成に対応した選曲をして戴き、奏者に対応したアレンジをして戴きます。

月4回3時間練習します。会場は公共施設を利用し、2か月前に抽選申し込み、落選の場合は次会場の空を探し、練習に支障の無いようにしています。

団員の手持ち楽器以外の大型楽器（ドラムス、コンガ、ボンゴ、キーボード数台他沢山の器材や楽器(先生所有)は私の家に収納。必要楽器を車で練習会場まで運びます。

また入団前に私宅で先生の予備レッスンを受けることもできます。

自主演奏会はホテルでの「アフタヌーンティーコンサート」や公共施設での「ニューイヤーコンサート」その他老人ホームの慰問演奏など年4～5回の演奏活動。5月には小田原のペンションで宿泊練習です。10月のアゼリア新楽団との合同演奏楽しみです

アゼリア合奏団inシニア 代表 津川博保



川崎市の市民自主企画24年度事業としてアンサンブル講座（講師：鍋木融先生）を立ち上げました。

27年度で川崎区からの援助が満期となり、本講座が終了しますが、昨年度の下期から講座と並行して自費によるサークルを立ち上げ、独立の先取りをしております。講座終了後の団員は40～50名になる予定ですが、

今回、全シ連に加入させて頂いたのはこのサークル（大正琴、オカリナ、ハーモニカ、フルート、篠笛、尺八、ギター、ヴァイオリン、トランペット、サクソなど20名）です。

講座では、鍋木先生から次の①～⑦を繰り返しての指導を受けておりますが、多数の者が「生涯学習として合奏を選んで、人生が変わった」と言っております。

①自分の楽器の能力（音域・音程・音量）を知り、仲間の楽器にも関心をもつ。

②テンポを重視しながら楽譜通りの音程をつかみ、仲間と演奏する楽しさを味わう。

③音程や強弱・緩急などを意識し、曲の表情付をしながら仲間と合奏することを楽しむ。

④音量バランスを意識し、仲間の音を聴きながら演奏を楽しむ。

⑤発表会向けのリハーサルで練習の成果を確認する。

⑥発表会で人前での演奏のコツを覚え、緊張感を楽しむ。

⑦シニア世代に向けて音楽を発信することで地域の中で音楽を楽しむ仲間を増やす。

通院、介護、孫の世話などとそれぞれが訳ありの面々ですが、ひと時の楽しさを求めて合奏に参加しております。「アゼリア合奏団inシニア」の中には川崎区のシンボルから命名した「すみれグループ」、「ひまわりグループ」、「銀杏グループ」、「長十郎グループ」の四つの小グループがありますが、これらのグループが上述の⑦を実践しております。

東金シニアアンサンブル

代表 安斎 孝



東金シニアアンサンブルは昨年の4月に発足し、一年目を迎えます。

団員は20名で主に東金市の大和公民館で隔週の火曜日午後1時から練習しています。指揮・指導は市原シニアアンサンブルと同じ大野悦男先生です。先生のモットーである「アンサンブルはみんなが楽しくないダメ」が練習に生きています。

同じ楽器がある場合はパート1、パート2と編曲し直したり、マリンバやトランペットが入団すれば楽器の特性を生かす編曲をしたりと、大野先生がいなければ一歩も前に進めないアンサンブルです。

初舞台は昨年の11月3日の『東金文化芸能発表会』でした。場所は東金文化会館大ホールで、演奏曲は「青い山脈」「荒城の月」「ふるさと」でした。大舞台は初めての団員がほとんどで緊張で体がガチガチになりながらも無事演奏することができました。

先生の優しい笑顔に救われ、4月からの練習の成果を発揮できたと思います。「まさか自分が大舞台でこんなに早く演奏できるなんて考えてもいませんでした。夢のようです。」「アンサンブルをやってよかった」と共通する喜び、感動を味わうことができました。

その後の『ケアセンター浅井』の訪問演奏、1月の『きららクラブ』（大網白里市の老人会）の演奏でも迫力ある生演奏が喜ばれ、YouTubeへ動画で投稿され好評を得ています。5分間の自分たちの演奏が動画で見られるなんて、これも嬉しい悲鳴です。

外房沿いで初めての東金シニアアンサンブルはハイハイからヨチヨチ歩きの状態ですが一歩ずつ前進していきたいと思っています。